



平成 17 年 6 月 17 日

各 位

会 社 名 ディナベック株式会社
代表者名 代表取締役社長 長谷川 護
問合せ先 総務財務部 清水 優一
TEL : (029) 838 0540
E-mail : info@dnavec-corp.com

株式会社医学生物学研究所（MBL）と中国（北京）で合弁会社設立のお知らせ

研究用試薬、臨床診断薬、抗体事業の国内バイオ大手「株式会社医学生物学研究所」（西田克彦社長、本社：名古屋市、以下「MBL」という。）と新興バイオベンチャー「ディナベック株式会社」（長谷川護社長、本社：つくば市、以下「ディナベック」という。）は北京市内に合弁会社「北京博迺邁生物技術有限公司（英語名 Beijing B & M Biotech Co, Ltd）」を設立しました。中国の著名な研究者、経営販売経験者も出資しています。新会社は、MBLの研究用試薬、臨床診断薬を中国において一手に販売するほか、抗体、検査試薬の開発、製造も行う計画です。

中国ではこの 4 月に一連の対日抗議行動が行われ合弁企業設立への影響も懸念されましたが、中国の著名な研究者、経営者との強い信頼関係から予定通りの設立となりました。

新会社の設立にあたって、MBLとディナベックは、すでに中国最大手の製薬会社との間で重症虚血肢の遺伝子治療製剤を導出し癌遺伝子治療等で共同開発を進めているディナベックの持つ中国における事業力とネットワークを活かし、中国現地のバイオ業界の有力者ととも合弁会社を設立することで、中国における事業推進に迅速かつ確な対応が可能な企業形態としました。

新会社は、中国の先端科学技術推進拠点である北京市中関村にある北京大学の新設インキュベーションセンター内に本社を置き、研究用試薬、臨床診断薬の開発・製造・販売に先行して、北京市サイエンスパーク内のベンチャーの施設・設備を利用した抗体の開発、製造を行います。すでにSPFウサギの供給源を確保し、6月から業務を開始いたします。また、新会社は1年以内に北京と上海に、2年以内に中国沿岸地域での試薬、臨床診断薬の販路を確立し、中国での本格的販売展開をいたします。

この新会社では、2008年に売上1500万人民元、利益300万人民元を目標にしています。
(2005年5月現在の為替レートで、それぞれ約1億9500万円、3900万円)。

【新会社の概要】

- (1) 会社の名称：
北京博尔邁生物技術有限公司 (Beijing Boermai Shengwujishu Youxiangongsi)
英語標記：Beijing B & M Biotech Co, Ltd
- (2) 主な事業の内容：医学、生物学および研究用抗原、抗体、薬剤、機器器具の研究、開発、生産及び販売
- (3) 設立： 2005年5月
- (4) 本社所在地： 北京市海淀区中関村北大街151号資源大厦803室
- (5) 役員： 董事長： 朱亜峰 (ディナベック)
副董事長： 西田克彦 (M B L)
總經理： 駱燮龍 (北京医薬集団)
役員構成： M B L 3、ディナベック 2、中国側 1
- (6) 資本金： 400万人民元 (2005年5月現在の為替レートで約5200万円)
- (7) 株主構成： M B L 67.5%、ディナベック 20%、その他 12.5%
新会社はM B Lの連結子会社になります。

【株式会社 医学生物学研究所の概要】

- (1) 主な事業の内容：臨床検査薬、基礎研究試薬の研究・開発、製造、販売
- (2) 設立： 1969年8月
- (3) 本社所在地： 〒460-0002 名古屋市中区丸の内三丁目5番10号 住友商事丸の内ビル5階
- (4) 代表者： 代表取締役社長 西田 克彦
- (5) 資本金： 2,228百万円
- (6) 従業員数： 246人(2005年3月末(連結))
- (7) 売上高： 4,932百万円(2005年3月期(連結))

【ディナベック株式会社の概要】

- (1) 主な事業の内容：自社ベクター技術に基づく遺伝子治療製剤開発、遺伝子ワクチン開発、組換えタンパク質の製造、遺伝子・タンパク質の機能解析、プラットフォーム技術としてのベクター技術の開発
- (2) 設立： 2003年9月
- (3) 本社所在地： 〒305-0856 茨城県つくば市観音台一丁目25番11号
- (4) 代表者： 代表取締役社長 長谷川 護
- (5) 資本金： 1,079百万円
- (6) 従業員数： 32名 (2005年3月末)

以 上